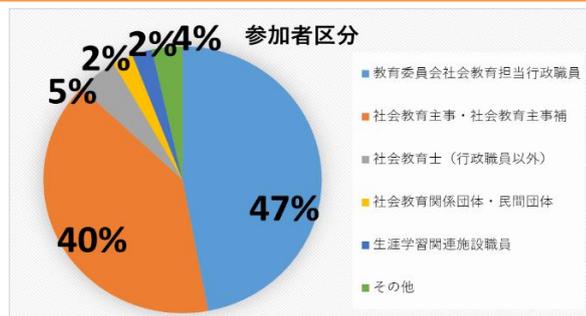


# 令和6年度（2025年度）地域生涯学習活動実践交流セミナー 事業報告書

## テーマ「持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す学びをつくる社会教育のあり方」

### 事業の内容

- 1 事業名 地域生涯学習活動実践交流セミナー
- 2 日時 令和7年2月27日（木）～28日（金）
- 3 場所 道民活動センタービル「かでの2・7」
- 4 人数 186名（対面156名、オンライン30名）



## I プログラム

	9:50	10:30	12:00	13:30	14:00	15:30	17:00
2/27	受付	開会	実践発表①	休憩	実践発表②	研究協議①	研究協議② 閉会
2/28	9:30	11:00	12:30				
	基調講演		全体交流	閉会			

【実践発表】	【概要と次年度の構想】
<p>空知管内 「異なる事業をつないで世代をこえる場づくり」 夕張市教育委員会 工藤 有咲 氏</p>	<p>夕張市内の拠点複合施設「りすた」を中心とした社会教育事業を展開し、各世代の課題を社会教育主事が把握し、解決に向けたつながりをつくることで、多様な学びの機会を創出した。より学習者のニーズにあった取組をコーディネートしていくことが、成果につながる。次年度も成果を生かし、取組を継続し、地学協働の取組の中心に、支援体制を整備していく。</p>
<p>石狩管内 「社会教育主事格付けチェック！ ～地域をつくる一流の社会教育主事～」 千歳市教育委員会 坪田 佳之 氏</p>	<p>社会教育主事に求められるスキルに着目し、それらを身に付けるための研修を実施している。年5回程度で、テーマに沿った外部講師を招き、学びの場を設定し、継続的な研修機会を設けるとともに、必要な資質・能力について、管内独自で整理している。R9年度まで、研修内容を整理し、成果を管内に周知していくことで、共通理解のもと社会教育の推進を目指していく。</p>
<p>後志管内 「後志管内におけるコミュニティ・スクールと地学協働の現状と課題」 共和町教育委員会 遠藤 純貴 氏、寿都町教育委員会 浦中 龍一 氏</p>	<p>管内の地学協働モデルを整理するため、現状と課題について調査した。整備状況は進んでいるものの機能を生かした取組には課題がある。学校と学校運営協議会のつながりを組織全体のものとして捉え、特に15歳までの子どもの体験活動を地域全体で充実させていく体制をつくっていききたい。今後、さらに研究を推進し、仮説をもとにモデル自治体による検証を進めていく。</p>

<p>胆振管内 「教えて！あなたの『なんかいい感じ』 ～Well-Being という観点から普段の事業を見 つめ直す」 壮瞥町教育委員会 前川 祐弥 氏</p>	<p>Well-being を「なんかいい感じ」と定義付け、地域住民 のアンケートを分析し、既存の社会教育事業の見直しを図っ た。事業内容に一定の成果があるとわかったため、「どのよう に参加者を増やしていくか」に課題をもち、参加者同士の勧 誘、声掛けに効果があることがわかった。結論をもとに、事 業の参加者、当事者を増やしていく取組に力を入れていく。</p>
<p>日高管内 「日高未来塾 LGBTQ への理解促進」 平取町教育委員会 窪田 奨平 氏</p>	<p>「日高未来塾」を、管内全体の学びの機会とし、1年度ご とに、担当を分担しながら研修会を実施した。参加者に地元 高校生を招き、共に学ぶことで、地域の課題解決に向け、つ ながりを創出する意味でも成果があった。次年度に向け、一 部の生徒にとどまらず全校規模でも研修機会となるよう活動 を広げていきたい。</p>
<p>渡島管内 「『多様性』を考慮した社会教育について ～主事会研修から～」 函館市生涯学習文化課 葛西 暁子 氏</p>	<p>多様な障がい、性差等を想定し、その立場を体験しなが ら、事業に参加することで、事業を運営する際に大切なこと を明らかにした。常に相手の立場に立つ意識をもつことで、 様々なバリアフリーを実現できることに気付いた。今後は、 事業参加者の事前の情報把握を徹底することで、誰もが参加 しやすい事業の企画・運営を目指していく。</p>
<p>檜山管内 「地域人材の協働によるスポーツ事業の 新たな展開」 奥尻町教育委員会 千嶋 将寛 氏</p>	<p>指導者の育成や他町とのバルシューレ団体と交流を進めて いる。活動を進めていく中で、町主導から地域住民主導の取 組にしていくとで、担い手育成の取組につながっていくよう 工夫している。次年度に向けて、シニア層が参加しやすい工 夫をするなどして活動を拡大していく。</p>
<p>上川管内 「社会教育行政と社会教育士の連携」 士別市教育委員会 工藤 雅史 氏</p>	<p>管内の社会教育事業を広域化するため、社会教育士と社会 教育行政の連携に注目した。民間の社会教育士との共同研究 を通して、ネットワークの拡大、協働での事業展開に向けた 協議を継続的に行った。次年度、各地域に根強いネットワ ークをもつ社会教育士と日常的につながり、自治体単位にとら われない事業展開を検討、実施していく。</p>
<p>宗谷管内 「地域の教育資源を最大限活用した 地学協働の取組」 浜頓別町教育委員会 戸田 弥祥 氏</p>	<p>教育課程の編成段階から地学協働の取組として社会教育主 事に関わり、「総合的な学習の時間」を中心に、子どもの体験 活動、まちの課題解決につなげる活動を実施した。 次年度に向けては、1つ1つの活動を、年間を通じてつな がる取組にし、子どもの学びをカレンダーにし、地域と共有す るなど、形にのこしていくことで体制づくりを進めていく。</p>
<p>オホーツク管内 「インクルーシブスポーツモルックについて」 大空町教育委員会 松本 晃 氏</p>	<p>生涯を通して、年齢、性別等に関係なく楽しめる「モルッ ク」を町技にし、誰一人取り残すことなく全員参加型の社会 の醸成を目指して、青少年、女性、高齢者を対象にしたどの 事業にもモルックを取り入れ実施した。次年度は、町民全体 のイベントの中核となるよう事業規模を拡大していく。</p>

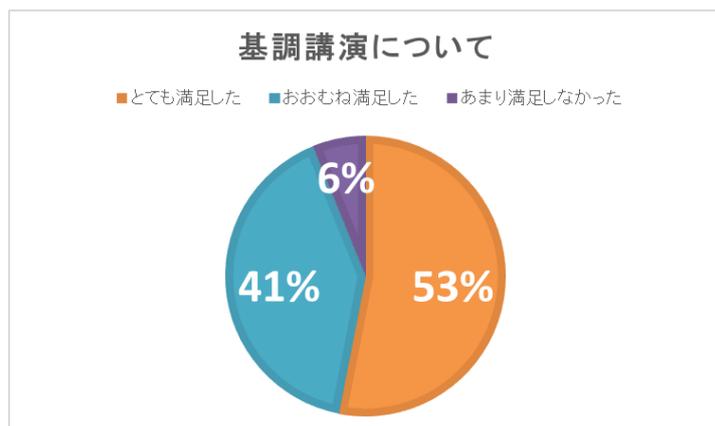
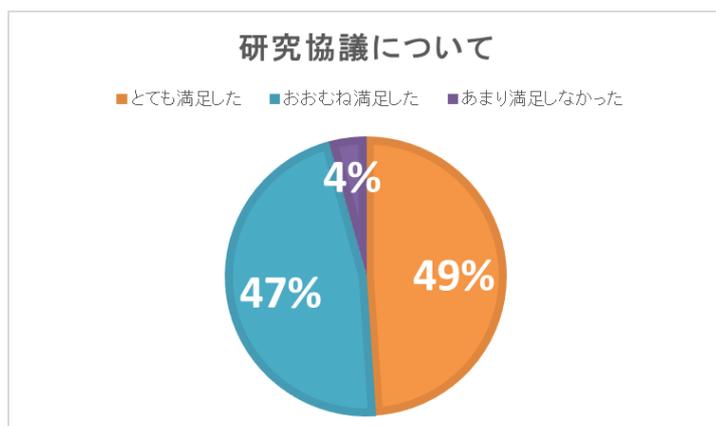
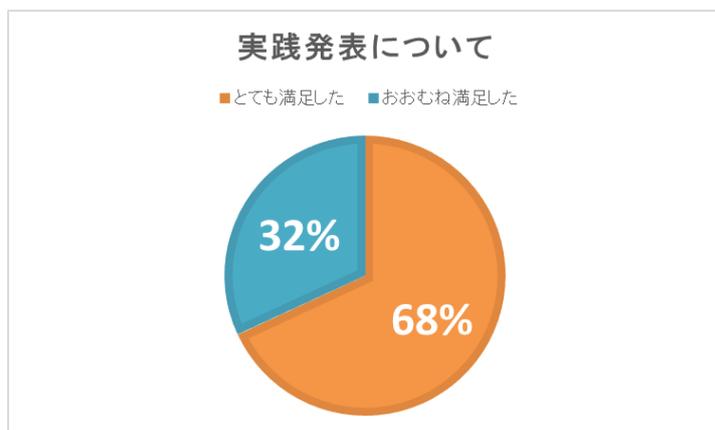
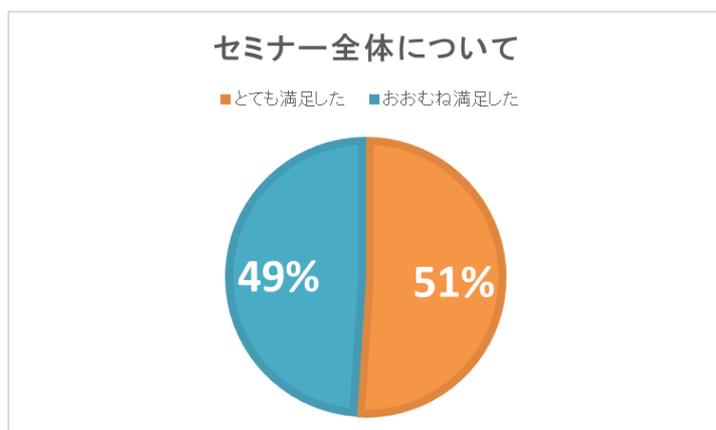
<p>十勝管内 「学び続け、挑戦し続ける人を育てていくために～とともに探究し続ける大人との関わりを通して～」 芽室町教育委員会 甲斐 未悠 氏</p>	<p>地域の魅力を知ってもらいたいという思いを共有し、地域と学校が連携した探究の時間を創出した。地域と学校をつなぎ、自らも当事者として関わることで、主体的に学ぶ態度の醸成につながるとわかった。次年度に向けて、社会教育職員の関わりにより、事業の企画段階から協働するメンバーをつなぎ、増やしていくことで、地域コミュニティを活性化させていく。</p>
<p>釧路管内 「『きっかけ』と『伴走』 ～白糠町の事例から地域の可能性を引き出すアプローチを考える～」 白糠町教育委員会 大村 祐貴 氏</p>	<p>持続可能な社会の実現に向け、「誰が何を次世代につないでいくか」という問いから、地域に住む多種多様な人、団体との交流を生み出す仕掛け方について検討した。地元青年団に働きかけ、「伴走」し続けることで、町の行事を通して、子どもたちに町の魅力を伝えたいという思いの醸成につながった。「伴走」する過程で、本当に必要な支援を精査することで、当事者が自走する姿に変容していくよう促していきたい。</p>
<p>根室管内 「知床学と社会教育の役割」 羅臼町教育委員会 佐藤 大誠 氏</p>	<p>羅臼町の社会教育中期計画の重点であるふるさと学習の推進を基に、体験を重視した学習として「知床学」を創設した。地元高校生を対象に体験を通して地域の自然環境やそれを生かした産業の実態を学ぶプログラムを地域の産業を連携して実施している。「体験」を通し、実感をともなった学びを生み出すことで、地元への理解、愛着が生まれ、将来の担い手が育つことを期待している。</p>

【研究協議】	【内容】
<p>研究協議① 実践発表の感想の交流、各自の実践の振り返りを交流</p>	<p>各管内の実践発表の感想を交流し、それぞれの実践のよさをきっかけに、その支えている背景について協議した。社会教育関係者としての心構えや、よい事業を支えている具体的な取組の方法や順序、多様な連携の重要性など、今後の取組に向け、大切にしたいことを明らかにしていた。</p>
<p>研究協議② 次年度の取組の構想、構想の交流、構想の具体化</p>	<p>研究協議①で整理した内容を、研究テーマに係るキーワードに当てはめながら、次年度の取組について構想を立てた。協議の様子から、特に社会教育の担い手育成、地域のキーマンになる人材の発掘、社会教育関係人口の増加を図る、社会教育士との連携といった、社会教育人材を中核にした事業展開の重要性を意識している意見が多くあった。これらの成果をもとに、年度の研究の方向性を整理していた。</p>
<p>【司会・進行】 各管内教育局社会教育指導班 【記録】 北海道社会教育主事会協議会</p>	

【基調講演】	【内容】
<p>「未来の大人が未来を創る」 ～SBP で日本に風をふかせよう～</p>	<p>基調講演では、高校生を中心に、魅力ある地域の題材を生かし、経済の視点で地域活性化を図る SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）の取組について紹介した。各地域において、教育的な営みを軸に、高校生が題材と向き合い「やってみたいこと」を見付け、思いを形にする探究活動が展開されていた。その過程で、地域の様々な人が関わり、一つのコミュニティへと発展していくことに大きな成果がある。参加した高校生は、達成感を味わうとともに自己肯定感を高め、その後活動に意欲的に取り組む姿へとつながることも特徴の1つである。</p> <p>また、事例発表では、プロジェクトの参加者として、皇學館大学3年生の森川氏により、体験の感想や活動の成果が今後どのように生かされていくかについて語られた。アウトリーチによる、地域の社会教育事業の活性化として、地域の魅力を捉える視点や関係人口を巻き込んでいく関わり、主体性を育み参加者に委ねることで、当事者へと変容させていく支援の仕方など、様々な視点で、研究テーマとも深く関係した内容だった。</p>
<p>【講師】 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 岸川晃大氏</p> <p>【事例発表者】 皇學館大学 森川堅心氏</p>	

## Ⅱ アンケート結果

### 1 満足度



### Ⅲ 参加者からの声

#### ○ 事例発表についての御意見・御感想（自由記述、一部抜粋）

- ・発表を聞くにつれて、参加者さんの意欲に火がついた。日々のひたむきなご実践に頭が下がりました。
- ・興味ある内容を選択して参加できるのが良く、とても参考となる話を聞くことができた。
- ・他市の事例発表を聞くがなかなかないので、とても良い時間を過ごせた。他市の事例を参考に、社会教育事業をさらに深めていきたい。
- ・自分の住んでいる地域でも生かせるものがいくつかあり、こういうやり方もあるのかと参考になった。
- ・その社会教育士を地域から発掘したり、育成したりすることが社会教育主事の仕事であると感じた。
- ・すべて聞きたい気持ちもあったが、資料は見るできるので、聴きたい事例を聴くことができる形式はとても良かった。各管内で着眼点が異なり、様々な視点で社会教育について考える機会になり、大変有意義な時間となった。
- ・管内全体で取り組んでいる地域もあれば、事例発表者が所属する自治体の事例発表となっている印象だった。
- ・実践事例を通して、地域連携のあり方や事業の進め方について考える機会になった。発表者の思いが伝わってきた。
- ・4管内の事例発表を聞き、印象に残っているキーワードは「愛」「対人」が記憶に残った。事例発表を参考にして今後も社会教育の仕事を行っていきたい。

#### ○ 研究協議についての御意見・御感想（自由記述、一部抜粋）

- ・見ていなかった事例発表について、各人の感想とともに聞くことができ、似たような活動をされている方や今後を見据えて事業展開の参考にされている方など、知らない視点から話を聞くことができ、とても良かった。
- ・他市とグループワークをしてみて、それぞれの事情や、逆におなじ悩みを抱えていたり、参考に出るところがとても多かったので、良かった。
- ・自分の聞いていないお話もいくつか聞けたり、人によってどう捉えるかというのを知れてとても面白かった。グループによってまとめ方や表現の仕方が違い、自分が大切にしようと思っていた事の幅も広がった。
- ・自分の町のここがもう少し足りないやどうすれば実行に移せたか、どこが問題だったのかがグループで協議して知ることができた。
- ・話を進めるには少し難しいテーマのように感じましたが、話題としては話しやすかった。
- ・同じ管内にいても、ブロックが異なれば共有する機会はあまりない。最後自分の管内で集まり、グループ協議の内容を振り返るのはよかった。
- ・他管内と協議できたことが良かった。またその後、自身の管内での時間も確保されており、フィードバックがしやすかった。

○ 基調講演についての御意見・御感想（自由記述、一部抜粋）

- ・住民の皆様と進んでかかわろうという意欲が湧いた。
- ・高校生レストランのお話は聞いたことがあったが、経緯などは詳しく知らなかったため、反対を押し切っても行動することで好転することがあるということがとても印象深かった。「若者の活動をサポートする」という思いを体現されていて尊敬した。
- ・経営学を取り入れることに、ちょうど興味を持っており、いろいろ調べていたところの講演だったので、とても興味深かった。
- ・高校生の活動やそれにどう関わっていくかなど、社会教育主事、社会教育士の手本となるような話だった。自分の地域でも自己肯定感を高めていく若者が増えるよう努力したい。
- ・研究協議でも話していたが、学生を盛り上げるために担当者の熱意が必要だと感じた。
- ・町の課題を諦めずに解決していく姿勢に感銘を受けた。
- ・未来の大人応援プロジェクトの実践を聞いて、目的を達成する熱意が大切であり、地域にも熱い思いをもった人がいるので、その人を見つけ、その姿を子供たちに見せ、想いを繋いでいくことが必要だと学んだ。

○ その他セミナー全体についての御意見・御感想（自由記述、一部抜粋）

- ・このような機会があることは大変良いことだと思う。これからも続けて参加したい。
- ・人と関わることは、社会を生きていく上でとても大切なことと思っており、こういった研修や、色々な方がされていた実践発表や、つながりの大切さを知れるとてもいい時間だった。
- ・他地域の社会教育担当者と意見交換（交流）をする事ができ、事業を運営する立場としてとても参考となった。
- ・資料や二次案内の共有はもっと早いほうがよい。
- ・他の管内の市町村職員と会話をする時間を長くしてもらいたい。研究テーマ以外に、日頃の悩みや、アドバイスをもらいたい。

## IV 講師からひとこと

この度は、このような講演の機会をいただきありがとうございました。とてもよい雰囲気楽しくお話することができました。これをご縁に、今後も皆様と、何かの機会に御一緒できることを楽しみにしております。

岸川 晃大

貴重な講演の機会をいただき、誠にありがとうございました。皆様とお話する中で、多くの気づきや学びを得ることができ、大変有意義な時間となりました。暖かく迎えてくださり感謝申し上げます。

森川 堅心

## V 担当者からひとこと

この度は、本セミナーに御参加いただき、ありがとうございました。本セミナーの学びが、道内の社会教育に関わる皆様にとって貴重な交流の機会になるとともに、令和7年度に向けた見通しをもつことにつながれば幸いです。また、アンケートにより、いただきました貴重な御意見を今後に生かし、よりよい研修の機会になるよう努めてまいります。今後も、道内の社会教育の一層の推進に、御協力いただけますようよろしくお願いいたします。